

高等学校ホームルーム活動指導案

1 ホームルーム活動(2)ア「自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成」

(1) ねらい

(ア) 拉致問題の実態を知ることを通して、拉致問題が生命や安全を脅かす人権侵害・人権課題の一つであることの理解と認識を深める。

(イ) 拉致問題について学び、横田さん一家の悲痛な思いに共感することを通して、自己の課題として受けとめ、どんな地域社会や国際社会を築くべきか考えをもつ。

(2) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点等
導入 5分	① 拉致問題の概要について	Q1 拉致問題とは何だろうか？ ・ ワークシート「1」を記入 ・ 講義と資料をもとに、5W1Hを中心にワークシート「2」に概要を記入する。	資料1：政府拉致問題対策本部資料「北朝鮮による日本人拉致問題 1日も早い帰国実現に向けて」
展開 25分 + 7分 + 8分	② アニメ「めぐみ」視聴 (25分)	・ 印象に残った場面や言葉をメモする。	・ 適宜解説をする。
	③ 以下について考える。 ・ 拉致被害者やその家族の心情 ・ 拉致問題が人権課題である理由 ・ 自分に置き換えた時の気持ち ・ 留意点 (7分)	Q2 拉致被害に遭った方々はどのような思いをしたのか？ ・ 4人程度のグループに分かれ、ワークシートの「3(1)～(5)」の1つについて班で話し合う。 ・ (3)については、資料2・3を参考にする。 ・ (1)～(5)について、班で出た意見を共有する。 ・ 担当でなかった番号についても、メモや自分で考えてみることを促す。	・ 各班が担当する番号については、教師が指定する。 資料2：アムネスティインターナショナル「世界人権宣言」 資料3：日本ユニセフ協会「子どもの権利条約」 ・ 発表内容を簡単に板書し、共有しやすくする。 ・ ワークシート3(4)については、配慮事項を確認する。
まとめ 5分	⑤ 授業の「ねらい」にそって意思決定する。  ⑥ 自宅課題について確認する。	Q3 拉致問題を考えるポイントは何だろうか？ ・ ワークシートの「4」にまとめを記入する。 ➤ 生命や安全を脅かす人権侵害・人権課題の一つである拉致問題の解決に向けて、自己の課題として受けとめ、どんな社会を築くべきか。	ポイントとして以下を確認。 ・ 拉致問題への理解を深め、関心を持つ。 ・ 拉致問題のような人権侵害を許さず、相互の人権を尊重し合う地域社会や国際社会を築く。 ・ 自宅課題の内容や提出期日について指示する。
自宅課題	⑦ 家庭との共有による学習内容の定着と身近な人々との共有による周知活動	・ 学習を通じて、考えたことや感じたことをワークシート「5」に記入する。 ・ ワークシートをふり返り学習内容を確認する。 ・ 保護者や家族に説明し、「共有を図る。「6」についても記入する。	※家庭への持ち帰りの際、韓国・朝鮮籍の生徒・家庭への配慮について留意する。

※配慮事項…拉致問題は、北朝鮮当局による国家的犯罪行為であり、北朝鮮の一般市民や在日朝鮮人の人々には責任はないということを押さえ、教育の中立性に十分配慮するとともに、新たな偏見や差別を生み出さないように配慮する。



## 2 ホームルーム活動（2）ア自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

### (1) ねらい

- (ア) 拉致問題が人権課題の一つであり、多くの人々が関心を持ち、世論を高めていくことが、解決につながるという認識を育む。
- (イ) 自己の問題と捉え、この問題の解決に向けて自分ができることを考え、共に解決していこうという意欲や態度を育てる。

### (2) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点等
導入 5分	① 拉致問題の概要の確認 ② 日朝首脳会談など歴史的経緯の概要	Q1 拉致問題の概要や経緯はどうなっていたのだろうか？ ・ 講義と資料をもとに、ワークシート「1」を記入する。	<b>資料1</b> ：政府拉致問題対策本部資料「北朝鮮による日本人拉致問題 1日も早い帰国実現に向けて」
展開 25分	③ 高校生としての自分にもできることを意思決定／合意形成する 例：啓発・周知用のポスター作成、署名活動への協力、拉致被害者家族への応援メッセージ、家族や友人などへの伝達や話し合い  ④ 発表に向けてA3用紙（又は模造紙）にまとめる。	Q2 拉致問題という人権課題に対して、自分たちにできることは何だろうか？ ・ グループで相談し、ワークシート「2」を完成させる。  ・ 発表に向けてA3用紙（又は模造紙）にまとめる。	・ 拉致被害に遭った方々の思いや、アニメ「めぐみ」のシーンや台詞などを思い出させる。 ・ 時期や内容について具体性を持って考えるよう促す。
展開 15分	⑤ 各班で考えた案を共有する。 (10班×1.5分＝15分)	・ 1枚の用紙にまとめたものをもとに各班が発表する。 (案の選定の理由、手順、課題など)	・ 時間や状況によっては、全班の成果物を教室内に掲示し、見て回る方法でも可。 ・ 多種多様な選択肢に気付かせる。
まとめ 5分	⑥ 拉致問題という人権課題の解消に向けた積極的な態度の重要性	・ 自分たちにもできることを確認することで、拉致問題という人権課題の解消に向けた積極的な態度や具体的な行動への意欲につなげる。	

※配慮事項…拉致問題は、北朝鮮当局による国家的犯罪行為であり、北朝鮮の一般市民や在日朝鮮人の人々には責任はないことを押さえ、教育の中立性に十分配慮するとともに、新たな偏見や差別を生み出さないように配慮する。

北朝鮮当局による拉致問題等について②

1 拉致問題について概要をまとめよう。


2 拉致問題という人権課題に対して、自分たちにできることを考えよう。(20分)

自分たちにできる (できそうな) 取組・行動	
実施までの 手順	
実施に 当たって 想定される 課題・困難	

3 1枚の用紙にまとめて発表しよう。(10班×2分=20分)

4 全ての班の発表から、自分にもできそうなものを挙げてみよう。また、そう思った理由も書いてみよう。

やってみようと思った 取組・行動	
そう思った理由	